夢描〈場所

千葉市立高等特別支援学校 学校だより 第5号 令和5年9月27日

喜んでもらうことに、喜びを感じて!

今年の夏は記憶にも記録にも残る猛暑となりました。9月下旬を迎えてもまだ 30℃を超える真夏日が続いています。過去10年の千葉市での真夏日の平均日数は50日ほどですが、今年はなんと、9月21日現在で77日を数えています。そんな猛暑とも戦いながら取り組んできた部活動の力や技、チームワークを競い合う「千葉県特別支援学校 高等部スポーツ大会」が2日間に分けて実施されました。14日は千葉県総合運動場にてサッカーとソフトボールに、20日は千葉ポートアリーナでバスケットボールに出場しました。これまでは全県で実施していた大会ですが、コロナ感染症の影響で



中止や地区ごとでの開催となっておりました。今年度は全県までには戻っておりませんが、千葉・東葛飾・東上総・南房総の4地区が集まっての大会となりました。結果はサッカー部が決勝での PK 勝利を含め3連勝で見事優勝!ソフトボール部が惜しくも敗れてしまいましたがシードだったため第3位。バスケットボール部は男女ともに「戦目は惜敗でしたが2戦目は大勝しての第3位となりました。どの種目でも選手同士、応援団もポジティブな言葉しか聞こえなかったことに清々しさを感じました。試合後は泣いている友達の肩を支え「〇〇のせいじゃないよ!」「ナイスプレーだったよ!」等の言葉、勝ったときは喜びをかみしめつつ対戦相手を気遣う姿が見られ、技能だけではなく心の成長が感じられるとても素晴らしい大会でした。

2年ほど前に千葉日報でも紹介された取り組みを継続中の、木工班による市内保育所への積み木の納品に同行しました。市の「木育」の一環として行われている事業で、本校の木工班が間伐材や風倒木を活用し積み木に加工しています。積み木は長さや厚さなど様々な大きさのものがあります。危なくないように丁寧に



一つ一つ面取り角取りをしてオリジナルの箱に入れて贈呈しました。手渡しのセレモニーの後には本校木工班3人と園児たちで一緒に積み木を使って遊びました。夢中になって高く積み上げる



子、長く並べてドミノ倒しをする子など大喜びで遊んでいました。生徒 たちは園児に大人気で、中には生徒の膝の上にちょこんと座り、リラッ クスして積み木をするなどの微笑ましい姿も見られました。

スポーツ大会にせよ積み木の納品にせよ、みんなで協力して頑張ったことや作り上げたものが、他の誰かに感動を与えたり喜んでもらえたりする、また、それを仲間と共有できるということが何よりも自分自身の喜びや成長につながるのではないかと思います。さぁ、いよいよこの後は光toku祭です。これまでの取り組みを全力で出し切って、保護者、地域の方々、来場者に喜んでもらいましょう!その喜ぶ姿をしっかりと目に焼き付け、そして自分自身も思い切り楽しみながら、更なる喜びや成長を目指していきましょう!

校長 三宅 健二朗